

男鹿市DX推進計画【概要】

1. 策定の背景

人口減少と急速な高齢化により、地域経済の縮小や地域コミュニティの機能低下、財政状況の収縮などが懸念される。

これまで以上に、きめ細やかで質の高い行政サービスを提供していくためには、社会経済情勢に柔軟に対応し、更なる行政の効率化・高度化を図らなければならない。

デジタル変革に向かう姿勢を示すため、「男鹿市DX推進計画」を策定。
(計画期間：R5～R7)

2. 国の動向

- R2.7 IT新戦略「世界最先端デジタル国家創造宣言・官民データ活用推進計画」
- R2.12 デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針
デジタル・ガバメント実行計画
自治体DX推進計画
- R3.7 自治体DX推進手順書
- R3.9 デジタル庁の設置
- R3.11 デジタル田園都市国家構想実現会議
デジタル臨時行政調査会
- R3.12 デジタル社会の実現に向けた重点計画（新重点計画）
- R4.6 デジタル田園都市国家構想基本方針

3. 本市の現状と課題

- ・人口減少や少子高齢化の進行
- ・担い手の減少や、販路拡大や安定的な供給先の確保など、流通販売の強化が必要。
- ・冬期間の観光資源の掘り起こし、周辺地域との連携により、誘客宣伝活動を一層強化。
- ・東日本大震災の教訓を踏まえた避難所運営対策や防災アプリ等の多様な情報伝達手段の確保。
- ・情報の提供と相談体制の強化など、健康や介護におけるサービスの充実に努める必要がある。
- ・整備と、個人の学習成果が地域社会に還元されるような生涯学習の実現が求められている。

4. 計画の理念

**デジタルの活用により、いつでも、どこでも、市民一人ひとりの多様な幸せが実現できる社会
誰一人取り残されない、ひとにやさしいデジタル化**

デジタル技術を積極的に活用することにより、市民一人ひとりがその利便性を享受し、誰もがデジタル化の恩恵を受けられる、ひとにやさしい市の実現を目指す。

5. 計画推進の留意点

- (1)利用者ファースト
- (2)デジタルデバイドの解消
- (3)人材育成
- (4)デジタル技術は便利なツール
- (5)個人情報・セキュリティ

6. 推進体制

男鹿市DX推進チーム

総務課デジタル推進班が司令塔となり、危機管理課、生活環境課、健康推進課、観光課、農林水産課、教育総務課の6課からなる「男鹿市DX推進計画策定チーム」を設置。

計画策定後は、「男鹿市DX推進チーム」として、本市のDXを強力に推進する。

7. 計画推進の柱

行政 ～行政のデジタル化～

利用者の視点に立ち、行政手続における利便性の向上を図る。

また、デジタル技術の活用により、行政事務の効率化や効果的な政策立案に取り組める環境整備を図る。

取組事項

- 行政手続のオンライン化の推進
- マイナンバーカードの普及と活用場面の拡大
- キャッシュレス決済の導入
- マイナンバーカードを利用した証明書等のコンビニ交付
- SNSを利用した施設予約の推進
- AI・RPAの導入による業務効率化
- ペーパーレス化

産業 ～産業のDX～

農林水産業や観光業などの各分野において、生産性の向上や新たな付加価値の創出につながるデジタル化を図る。

取組事項

- 自動運転トラクタやドローンなどのスマート農業技術の活用による負担軽減
- ICTを活用した農業水利施設の管理や農業用水管理の省力化・高度化
- デジタル監視による漁網の引き上げ管理や船上からの販路の確保
- AR・VR技術を活用した観光コンテンツの整備
- デジタル技術を駆使した新しい体験型観光農園の体現

暮らし ～デジタル社会～

健康、介護、交通、教育、防災等、日常生活に関わるあらゆる分野において、デジタル技術の活用を推進し、市民生活の利便性や快適性、安全性の向上を図る。

取組事項

- デジタル技術を活用した地域高齢者のみまもりサービスの展開
- 健（検）診申請の電子化と健診結果への個人アクセスによる利便性向上
- デジタル技術を活用した母子保健事業の推進
- 防災情報の充実・高度化
- ICTを効果的に活用した「個別最適な学び」の推進
- 公共施設へのWi-Fi環境の整備
- デジタルデバイドの解消に向けた、各種操作体験会等の実施